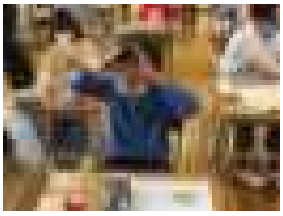
山都町立潤徳小学校　学校だより

狭霧（さぎり）の朝

潤徳小HP
QRｺｰﾄﾞ ←カラーで見られます！
令和４年１２月９日（金）　第４７号
校　長　池部　聖吾智（みわとも）

ＳＤＧｓ出前授業「未来食」×プレゼンツ

紙面の都合で、ここでは授業のポイントのみ述べます。世界人口の増加により、将来の食糧事情が不安になるということから、「少ないエサで育てられ、タンパク質が豊富」ということで昆虫食が注目されているそうです。牛とコオロギで必要なエサの量をデータで比較し、その根拠を示されました。その後、昆虫を原料とした「お菓子」の試食の時間がありました。



「ウエー」「ムリ！」たとえ、お菓子でも抵抗はあるようでした。でも周りの子たちが食べ始めると「おいしい」と言って食べていました。最後の振り返りでは「いろんな虫にチャレンジします」という「ワイルド」な意見も出ました。「何でも」は食べないようにしてくださいね。

おいしい給食、感謝しながら「いただきます！」

山都町は、すっかり冬の兆し‥左写真は、朝の給食室前の風景です。毎日のように霜が降りています。そうなると給食室内は、とても厳しい環境になります。右下の写真は、給食後の後片付けをされている様子です。調理員の村上先生に「お疲れ様です。寒いでしょう？」と聞くと「いや～寒いですね。今日は氷点下です」と、そしてイラストでおなじみの志賀先生からは「寒いけど頑張ります！」と笑顔で答えていただきました。お2人には毎日頭の下がる思いです。給食日誌にも時折、暑さ・寒さ環境についての記録が見られます。しかし、給食が完食された日が先生方にとって何よりうれしいことだということもうかがえます。私たちは、「安心・安全に給食をいただけることに感謝し、残さず食べる」ことで調理員の先生方を始め、給食に関わるいろんな方にお返ししたいと思います。

潤徳抄

九月の運動会で団長として各団を引っ張ってくれた白団の　くん、赤団の　さんの両者は、今もなおリーダーとしてチカラを発揮している▼七日付本校ＨＰ「学校の生活～潤徳小の朝～」でも触れたが、私が運動場の奥にいて、子どもたちがどう反応するのか様子を見ていた。すると、運動場奥の私に聞こえるような大きな声であいさつをしてきたのだ▼これには二人の影響が大きい。二人は徒歩通学、バス通学だから時間差で登校してくるのだが、いずれも自ら真っ先に大きな声であいさつするから、他の子もその流れであいさつするのだ。現に、　くんのあいさつで、既に通過した一・二年生が後からあわてて大きな声であいさつしていた▼私は、学校行事の度に「打ち上げ花火で終わらないようにしましょう」と先生方に伝えることが多い。「子どもは、学校行事で育てる」つまり、行事を経るごとに子どもたちが成長していくことが大切なのである。子どもたちは成長している！